

# 事業所全体による自己評価

## ①問題点

- ・一部、専門性に欠ける部分有。

### 解決策

職員の専門性についてのご意見も真摯に受け止めております。当事業所では、研修や情報共有を通して職員の知識や支援技術の向上に努めています。今後もお子さま一人ひとりにより良い支援が提供できるよう、職員の専門性の向上に努めてまいります。

## ②問題点

活動プログラムが固定化されていると変化は分かりやすいがずっと同じで困りごとが解消するのは不安。

### 解決策

同じ活動を継続することでお子さまの変化や成長を把握しやすくすることを大切にしています。活動内容は同じでも、一人ひとりの発達に応じた支援ができるよう努めてまいります。

## ③問題点

先生と二人も楽しいけれど、他のお友達とも一緒に運動したい」といつも言っています。

### 解決策

お子さまが「お友達と一緒に運動したい」と感じていることは、社会性の広がりとして大切な成長の一つだと受け止めています。当事業所ではマンツーマンでの支援を基本としていますが、今後もお子さまの気持ちや成長に合わせた関わり方を検討してまいります。

## ④問題点

面談の際にパーテーションなどがあると良い。

### 解決策

ご意見ありがとうございます。カーテンを設置しました。今後活用していきます。

#### ⑤問題点

他の保護者の方と交流して情報交換するきっかけを作っていただきたかった。（個人情報もあるので希望者だけでも）

#### 解決策

保護者の皆さま同士で情報交換ができる機会についてのご要望として受け止めております。個人情報への配慮も必要となるため実施方法については慎重に検討する必要がありますが、今後の取り組みの参考にさせていただきます。

#### ⑥問題点

一回 40 分が短いと感じます。レッスン 45 分、フィードバック 5 分が希望です。

#### 解決策

現在は 40 分の療育時間の中で、お子さまの活動や集中の様子を踏まえながら支援を行っております。いただいたご意見も参考にしながら、今後の支援のあり方について検討してまいります。